### curvefit

入力レコード値に対して最小二乗法を用いた線形回帰分析を実行します。

#### 構文

curvefit [degree=INT] INDEPENDENT\_FIELD, DEPENDENT\_FIELD

必須パラメータ

**INDEPENDENT\_FIELD**

独立変数として使用するフィールド。独立変数の値は数値型である必要があります。

**DEPENDENT\_FIELD**

従属変数として使用するフィールド。従属変数の値は数値型である必要があります。

オプションパラメータ

**degree=INT**

入力値を近似する多項式関数の次数（デフォルト: 3）

#### 説明

最大1万件の入力レコード値に対して、最小二乗法を用いた線形回帰分析を実行します。独立変数フィールド値は **\_x** フィールドに、計算された関数値は **\_p** フィールドに出力されます。1万件を超えるレコードは無視され、クエリが終了します。

#### 使用例

直近1時間のCPU使用率の推移を10次多項式で近似

table duration=1h sys\_cpu\_logs| eval x = datediff(dateadd(now(), "hour", -1), \_time, "sec")| eval total = kernel + user| curvefit degree=10 x, total